

行政視察報告書

会派 誠の会

視察日 平成30年 6月26日(火)

研修先

福岡県福岡市（博多まちづくり推進協議会）

及び調査項目

博多駅周辺の「歩いて楽しいまちづくり」に関する取組みについて
概要説明後 博多駅前通り、明治公園視察

博多まちづくり推進協議会の活動について

博多まちづくり推進協議会では、平成21年4月20日「博多まちづくり宣言」
また、平成19年より準備会を設置し、平成20年～23年までをまちの基礎づくり、
平成21年より博多まちづくりガイドラインの作成、平成23年～26年までを「飛躍・発展」の中期活動計画、平成26年～29年まではアクションプラン「磨く」の
行動計画、さらに本アクションプランにおける基本方針として、平成29年～31年
の3年間は、博多まちづくりの新たなステージに向け“繋ぐ”期間として位置づけ、
事業推進中。

◇ 博多まちづくり宣言（全文）

九州、そしてアジアの玄関口である博多。古くから歴史を継承しながら、進化する
まち。伝統を尊ぶ暮らしと便利な住まいが、共存するまち。

そんな博多では、様々な営みをつないで、まち全体の魅力を高めていくために、事
業者、住民、働く人、行政、来訪者が一丸となって、取り組むまちづくりが必要です。

そこで、私たちは、博多が将来にわたって活力と風格を持ち続け、「住んでよし、働
いてよし、訪れてよし」という、魅力あるまちであり続けるために、博多に古くから
伝わる「博多手一本」の精神を尊重します。

「博多手一本」とは、話し合いがまとまると最後に一本締めを行う慣わしのことで、
その後は、全員が同じ目標を目指し、動き始めます。

私たちもその精神に則り、何事もみんなで協議し、思いをまとめ、博多のまちのため
すべきことに、一致協力してあたることをここに宣言します。

平成21年4月20日 博多まちづくり推進協議会

(1) 本アクションプランにおける基本方針

☆ 歩いて楽しいまちづくり

- ・ 地下鉄七隈線延伸に向けて歩いて楽しいまちとしての魅力の更なる向上
- ・ 博多駅周辺の更なる回遊性向上と新たなにぎわい創出
- ・ 新たな交通機能を見据えた、歩行者中心の賑わいを創出する交通体系のあり方の共有

<ul style="list-style-type: none"> 博多に集う様々な人たちが、博多の歴史、文化、食をより深く知り、より深く楽しむまちづくり
☆ 美しく安心なまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> まちの防災機能の強化 美しく、環境に配慮したまちづくり 全ての人にとって安全、安心なまちづくり
(2) まちづくりの方針 (抜粋)
☆ にぎわい、回遊政策
方針 1 国内外から集客し、博多のまちの各方面に人を導く拠点づくり
2 来街者を博多のまち全体へ回遊させ、個々の通りが個性的な魅力の形成
☆ 交通政策
方針 1 歩行者がゆとりを持ち、安心して歩ける空間づくり
2 歩行者と自転車利用者の双方の安全性、快適性を高める環境づくり
☆ 歴史、文化政策
方針 1 歴史ある博多のまちにふさわしい、情緒あふれる景観とおもてなし
2 文化を創り、楽しみ、学べるまちづくり
☆ 環境政策
方針 1 創エネ、省エネなどに地域が一体となって、積極的に取り組むまちづくり
2 効率的にエネルギーを利用できる環境にやさしい建物建設、改修
☆ みどり、公園政策
方針 1 みどりを広げ、環境にやさしい魅力とうるおいのある美しい景観形成
2 みどり豊かで、地域の資源となる公園づくりの推進
☆ 安全、安心政策
方針 1 防犯に積極的に取り組むことで、安全なまちづくり
2 誰もが、安心、快適に移動できるよう、まちのユニバーサル化の推進
☆ 防災政策
方針 1 災害を防ぎ、被害を最小限にするため、地域と行政が一体となり、まちの防災機能強化
2 防災体制が機能するよう、防災に関する教育や啓発
(3) 主軸形成の方針
博多駅を中心とした各主軸（大通り）の性格や特性を踏まえ、それぞれの軸の将来像の実現に向けて、必要な主軸形成の方針を示し、取り組んでおります。
(4) アクションプランの振り返り
(2014～2016) のアクションプラン、「歩いて楽しいまちづくり」、「美し

く安心なまちづくり」の実行計画の完成度について検討
(5) アクションプラン
2017～2019では、「歩いて楽しいまちづくり」、「美しく安心なまちづくり」では、ステップ1～ステップ3までの目標を掲げ、将来目標とするまちの姿を描き、実現に向け、努力している。
(6) 博多まちづくり推進協議会の構成等
会員数 正会員、一般会員含め173会員
年会費 正会員10万円 一般会員3万円
事業費 年間 約7,500万円 うち、福岡市よりの補助年1,200万円
協議会長はJR九州社長、協議会へはJR九州より4名、福岡市より3名が出向し、事業推進に携わる。
協議会正会員は、JR九州ほか、福岡市に本社または支社・支店がある一流企業が加入しており、一般会員も同様で、博多のまちづくりに対する各企業の熱意が推測される。また、特別会員には九州大学、国交省九州運輸局、同九州地方整備局、東京大学大学院、(独)都市再生機構九州支社、(株)日本政策投資銀行九州支社、(公財)福岡アジア都市研究所、福岡県、福岡県警、福岡市が加入している。
※ 所 感
「歩いて楽しいまちづくり」賑わいの創出のため、博多駅前通り既存の片側三車線道路の一車線（幅員3.5m、延長約300m）を道路専用から除外して歩道空間とし、イベントの出店やおもてなしの創出を実現している。
三車線の専用道路を一車線除外するため、国土交通省の許可を得るに苦労したとのことであるが、福岡市や福岡県から大いに協力いただき、国家戦略特区補助事業〔国家戦略道路専用事業〕として採択され、実施した。
このことにより、既存の歩道空間約3.5m巾が、約7m巾になり、昼も夜も楽しめるイベント会場づくりに功を奏し、また、テレビ、新聞などメディアの取材にも取り上げられ、駅前通りの認知度も上がり、観光客をはじめ家族連れやビジネスマンなどを含め、賑わいやおもてなしが実現できているとのことである。
本市においても街の賑わいのためには、街中に歩道空間やイベント会場空間をより広く創出できるかが、今後の大きな課題ではないかと感じております。
以上、報告といたします。
平成30年 7月31日
松本市議会議長 上條 俊道 様
会派 誠の会